

## 第1回 同志社ゼミ

ゼミ担当者 : 藤本 万里子, 真武 信和, 久松 望美  
 指導院生 : 吉田 昌太, 森 隆史  
 開催日 : 2003 年 5 月 7 日

ゼミ内容: 伝統ある同志社大学に通いながらも、同志社の歴史や、創設者である新島襄についての知識が少ない内に卒業する学生が多い。本ゼミでは、同志社の歴史や College Song を通して同志社の伝統を理解し、母校への愛着を持ち、同志社の卒業生としての誇りを持って社会で活躍できるようになることを目的とする。

### 1 同志社徽章

正三角形を3つ寄せたマークは、国土を意味するアッシリア文字「ムツウ」<sup>1</sup>を図案化したものである。知・徳・体の三位一体（完全な調和）を意味する記号であり、「国家の為に完全なる教育を行う」という校祖新島襄の精神を含んでいる。考案者の湯浅半月（ゆあさはんつき）は、本学が生んだ詩人であり古代オリエント学者である。制定された当時、半月は本学の神学教授であった（Fig. 1 参照）

制定年月 1893 年（明治 26 年）10 月  
 デザイン 湯浅半月 半月

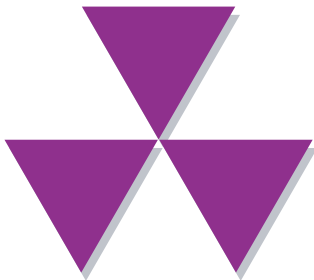


Fig. 1 同志社徽章

### 2 スクール・カラー

スクール・カラーは Purple & White（紫と白）の2色である。紫はローヤル・パープルで日本の古代紫と江戸紫の中間色に相当する。創立者新島襄が学んだ米国アモスト大学のスクール・カラーと同色である。社旗は、地を紫に、徽章を白でぬく。

### 3 教育理念と教育目的

同志社大学は、「自由主義」「キリスト教主義」「国際主義」の3つの基本理念を掲げている。これは、新島襄が同志社を設立した際の精神に基づいている。教育の目

<sup>1</sup>アッシリアはメソポタミアの肥沃な三日月地帯にあり、古代においては最も文明の進んだ地域であった。

的は、キリスト教を基本として人格を養い、単に学業や技術にすぐれているだけでなく、聖書にいう「地の塩」、  
 「世の光」となる人物、すなわち、キリスト教的人生観、  
 世界観を身に付けた主体性のある人間と、社会の各方面  
 において、その能力に応じて奉仕する人間を育成することである。

### 4 新島襄

新島襄（Fig. 2）がなぜ同志社を設立したか、その理由は明治維新という時代と新島の個人史が鍵を握る。政治、社会、生活習慣全てが変革しようとする明治維新において、もしそこで教育制度が昔のままならば、旧人間が再生産され、旧体制が復活しかねない。そこで、政府の手に委ねない私立大学を設立し、自由主義の中で、ただ知識があるだけでなく自治自立できる「良心」ある新人間をつくること、「近代国家」としての日本を形成するために不可欠と考えた。これに新島襄の教育にかけた宿志が加わり、同志社は生まれた。



Fig. 2 校祖 新島 襄

#### 4.1 新島襄の生涯

- 1843年1月14日 4人の女兒が続いた後に嫡男として、安中藩の新島家に生まれる。父は民治、母はとみ。正月の七五三飾り（しめかざり）にちなんで「七五三太（しめた）」と名づけられた。祖父の弁治が男の子と聞いて「しめた！」と叫んだからという説もある。
- 1853年 黒船来航。この後いくつかの外国船が日本を訪れ、新島も海外の様子に強い関心を抱くようになる。
- 1856年 田島順輔の手解きで蘭学を学び始める。このほか、漢学、数学、航海術などについて学ぶ。優れた才能と強い勉学意欲を持つ新島は、封建制度の抑圧からの脱出を考え始める。
- 1864年 蘭学等を海外で学ぶために、脱藩して函館に行く。6月14日、福士卯之吉の斡旋によってアメリカ商船ベルリン号に乗り込み、国禁を犯して脱国。7月9日、上海に着いた船は、そこで日本に引き返さなければならなかったが、ベルリン号の親切なセヴォリー船長のはからいでワイルド・ローバー号に乗り換えることに成功。新しい船で七五三太は、テラー船長からJoeと呼ばれ（これがのちの襄となる）、やがて船はボストンに入港する。途中の香港で漢訳の新約聖書と出会う。脱国を企て丸1年で、新島は着実に封建体制下の青年武士から近代的な1人の青年に脱皮を遂げていた。
- 1865年 ボストンではワイルドローバー号のテイラー船長の紹介で船主のハーディー夫妻の世話になる。それからの9年間でフィリップス高校、アーモスト大学、アンドーヴァー神学校の3つの名門校をいずれも成績優秀で卒業した。
- 1866年 アンドーヴァー神学校付属教会にて洗礼を受け、日本人初のキリスト新教信者となる。
- 1868年 明治維新
- 1871年 森有礼駐米少弁務使（行使）の斡旋で、日本政府の旅券と留学免許状が送付される。
- 1872年 アンドーヴァー神学校卒業前、新島はワシントンで岩倉全権使節団に会う。副使の木戸孝充らと親交を結び、使節団の要請にこたえて田中不二麿文部理事官らと共に、ヨーロッパ各国の教育制度を視察する。
- 1874年 ヴァーモント州ラットランドで開催中のアメリカンボードで演説し、日本でのキリスト教主義学校設立を訴えた。アピールは反響を呼び、その場で約5000ドルの寄付申し出を得た。このとき、一人の貧しい農夫が、帰りの汽車賃であったはずの2ドルを寄付した。この事実は襄の心を打ち、現在でも同志社において語られる美談の一つとなっている。同年、31歳になった新島は帰国する。
- 1875年 京都にキリスト教と近代科学を教える学校の設立を提案し、宣教師グリーンとJ.D. デイヴィス、京都府顧問の山本覚馬に支持を受ける。そこで、新島は山本所有の相国寺門前の旧薩摩藩邸跡地約5800坪を譲り受け、その地に、この年の11月29日同志社英学校を設立した。この「同志社」という名前は山本の発案によるものである。教員は新島とデイヴィス、生徒は8人というスタートだった。しかし、正課の授業で聖書は教えないという条件のもとで京都府に許されたものだった。
- 1880年 山本覚馬の妹、八重と結婚する。
- 1880年4月13日 朝礼の席で、生徒のストライキに対し自らの掌を鞭打つ「自責の杖」事件が起こる。
- 1888年11月7日 全国の主要新聞雑誌に「同志社大学設立の旨意」（5章参照）を発表して協力を呼びかけた。当時大学とよばれるものは、官立の東京大学1校のみであり、新島は、これに抗して、全国の賛同する「民間人の手に拠（よ）って」、つまり自発的結社によって私立大学を創ろうとしていた。「同志社」つまり“志を同じくする個人の約束による結社”という名前自体もこの理念を示している。福沢諭吉の慶應義塾も同様の結社で、当時はこのような試みが可能であった。
- 1890年1月23日 同志社大学設立半ば、46歳で永眠する。遺骸は若王子墓地に埋葬される。

## 4.2 自責の杖

1880年4月13日朝の礼拝の席で新島は、「生徒の無断欠席という校則違反は彼らの罪でも幹事の責任でもない、校長である自分の落ち度であり不徳のいたす所である、よってその校長を罰する」と携えて来た杖で左掌を数度にわたって痛打し、杖は折れた。これが「自責の杖」事件である。

この事件は、新島のひと月の伝道旅行中に起こった。それは、3ヶ月ほど先に入学していた学生と、後から入った学生とを同級にしよう、という学校のやり方に対して、先に入学していた組の者が、下級の者と同級になるのは嫌だと反発し、それをさらに上級生が煽り、無断授業放棄、学生同盟休校（ストライキ）となったものである。帰ってきた新島は、この校則違反の責任をうやむやにする訳にはいかないと、生徒でも教師でもなく自らを罰したのである。この出来事は、新島襄のキリスト者、教育者としての姿、同志社教育のあり方、またその本質を最も象徴的に表すものとして、今も同志社ではこれを永く語り継いでいる（Fig. 3）



Fig. 3 自責の杖

## 4.3 「襄」という名前の由来

ワイルド・ローバー号（Fig. 4）のテラー船長は、「I shall call your name Joe」と言い、新島を弟のように可愛がった。ここにジョー（Joe）という名前が誕生した。Joeは、Joseph（ヨセフ）の縮まった名前である。ヨセフは、旧約聖書の創世記30章以下に記される、神の民イスラエル民族をエジプトから救った人物の名である。テラー船長は、新島の固い志を知り、ヨセフのように、新島の夢が幾多の困難と苦難を越えて実現されることを願ってこのように命名したのであろう。後にヨセフという名の意味を知った新島は、自らの使命を自覚してその名を受け止め、「襄」という当て字を用いた。

## 5 「同志社大学設立の旨意」

以下は、1888年（明治21年）、新島襄が大学設立の宿志を全国の人民有志に向かって訴えた文章の内容を要約したものである。同志社大学はこの創立の意思にもとづいて建てられた自発的結社であり、作為型目的集団であるという誇るべき出発点をもっている。旨意の一部は、毎年入学式で朗読されている。



Fig. 4 ワイルド・ローバー号

### ● 国民の安危と教育

将来の安危禍福は、ただ国民教化の力によるものである。

### ● 良心を手腕に

同志社設立の目的は、ただ技術や才能ある人物を育成するにとどまらず、徳性を磨き、品性を高め、精神を正しく強めるように努め、いわゆる「良心を手腕に運用する人物」を世に送り出すことである。

### ● キリスト教的徳育

ただ神を信じ、真理を愛し、他者に対する思いやりの情に厚いキリスト教の徳徳によらなければならないと信じ、キリスト教主義を徳育の基本とした。

### ● 私立経営及び自治的精神

私立大学が持つ長所は、学生が自己独自の気質を発揮し、自治自立の人民を養成するという点である。

### ● 一国の良心

一国を維持するのは、決して二、三の英雄の力ではない。一国を形成する教育、知識、品性ある人民の力によらなければならない。私たちはこの「一国の良心」ともいうべき人々を養成することを目的としている。

### ● 百年の大計

大学生設立の計画は、一国百年の大計画である。

[要旨]：キリスト教主義なればこそ自分が自分の主人公である人間、良心を手腕に用いる人物が育つのであり、その下でこそ「文明」は進み「近代国家」としての日本も形成される。明治日本に今必要なのはそのような大学であり、一国の良心とも言うべき人々を養成するために、人民の手に抛る同志社大学を設立した。

## 6 同志社の格言

- 「良心之全身ニ充滿シタル丈夫(ますらお)ノ起リ来ラン事ヲ」

良心之全身ニ充滿シタル丈夫<sup>2</sup> = 「良心を手腕に運用する人」、つまり、良心に満ち溢れた人物が、同志社から輩出されることを望んだ言葉である。これは新島が東京から同志社普通学校 5 年生の横田安止に宛てて書いた手紙の一節である。現在、キャンパスの正門を入ったところにこの言葉が刻まれた「良心碑」がある。(Fig. 5, Fig. 6)



Fig. 5 今出川校地の良心碑



Fig. 6 京田辺校地の良心碑

- 「同志社においては 儻不羈(てきとうふき)なる書生を圧束しないこと」

新島襄の遺言で、 儻不羈 = 自分の考えをしっかり持って安易に人に左右されない人を、型にはめずに大きく育てたいとの願いが込められている。これが同志社の「自由主義」の源泉となっている。

- “ My Life is My Message ” (私の生涯が私の遺言です)

新島と共に英学校開校当時から同志社を支えた J.D. デイヴィスの言葉で、現在、デイヴィス記念館のロビーに刻まれている。(Fig. 7)

- “ SEEK THROUGH YOUR VOCATION TO SERVE GOD AND HUMANITY ”

<sup>2</sup>立派な男, 勇気ある強い男。



Fig. 7 デイヴィス記念館

(天職による神と人類への献身)

これは理化学館の正面玄関上にまれている J.N. ハリスの言葉である。(Fig. 8)



Fig. 8 ハリス理化学館

- “ Learn To Live and Live To Learn ” (生きるために学び、学ぶために生きよ)

半世紀にわたって同志社の教壇に立ち、大学令による同志社大学の第二代学長をつとめた D.W. ラーネットの愛誦句である。現在、ラーネット記念図書館の正面玄関上に刻まれている。(Fig. 9)



Fig. 9 ラーネット記念図書館

- 「一粒の麦, 地に落ちて死なずば, 唯一つにて在らん, もし死なば, 多くの果を結ぶべし」(「ヨハネ伝」第 12 章 24 節)

これは、新島の追悼式で小崎弘道が引用した言葉である。また、J.D. デイヴィスは新島伝の中で、「新島はなお生きている。肉体は滅んでも、彼はなおもこの国民の全部に語りかけられている。」と記している。

Table 1 英学校設立以降の同志社の年表

年月日	事柄
1875(明治8)年 11月29日	官許同志社英学校開校。京都府知事榎村正直，府顧問山本覚馬の賛同を得，開校。上京第22区寺町通丸太町上ル松蔭町18番地高松保実邸の半分を借りた校舎。教員は新島襄とJ.D. デイヴィス。生徒8人であった。新島襄初代社長に就任。
1876(明治8)年 4月	D.W. ラーネッド着任。
9月	今出川校地へ移る。相国寺門前(薩摩藩邸跡)に校舎2棟と食堂1棟を建て寺町から移る。この時熊本洋学校に学んだ生徒(熊本バンド)が入学した。
10月	京都御苑内柳原邸に女子塾開設。
1877(明治10)年 4月	同志社分校女紅場を開設。
9月	女紅場を同志社女学校と改称。
1879(明治12)年 6月	英学校第1回卒業生(余科15人)を出す。
1880(明治13)年 4月13日	朝礼の際，新島は自分の掌を杖で打ち，自らを罰して生徒に訓す。「自責打掌」事件。
1883(明治16)年 2月	「同志社社則」を制定。
1884(明治17)年 5月	「明治専門学校設立旨趣」および「同志社英学校設立始末」を印刷頒布。
9月	同志社最初の煉瓦建築，彰栄館竣工(国の重要文化財)
1886(明治19)年 6月	礼拝堂(チャペル)竣工(国の重要文化財)
11月	書籍館(現，有終館)開館(国の重要文化財)
1888(明治21)年 11月	「同志社大学設立の旨意」を全国の主要な雑誌・新聞に発表。
1890(明治23)年 1月23日	新島襄永眠。募金運動中に前橋で倒れ，静養先の神奈川県大磯の旅館百足屋で，徳富蘇峰，小崎弘道らに10か条の遺言を託して永眠(47歳)。1月27日チャペル前で葬儀を営み，東山若王子山頂に葬る。墓碑銘は勝海舟筆。
7月	アメリカの実業家J.N. ハリスの10万ドルの寄付によるハリス理化学館竣工。(国の重要文化財)
9月	ハリス理化学校開校。工学部の淵源といってよく，ハリス理化学館は，その中心施設であった。
1891(明治24)年 9月	政法学校開校。政治科と理財科を置き，法学部と経済学部の前身とみなされている。
1893(明治26)年 10月	同志社徽章(校章)を制定。
1894(明治27)年 11月	クラーク神学館(現，クラーク記念館)の開館式挙行(国の重要文化財)
1901(明治34)年	同志社女学校専門学部設置。
1904(明治37)年 4月	専門学校開校。専門学校令による神学校と専門学校を開校し，政法学校，理化学校などは廃止もしくは統合された。
1909(明治42)年	同志社カレッジソング(W.M. ヴォーリス作詞)を制定。
1912(明治45)年 4月	専門学校令による同志社大学(予科・神学部・政治経済部・英文科)ならびに女学校専門学部開校。
1918(大正7)年	社長を総長と改称し，原田助が就任。
1919(大正8)年 1月	D.W. ラーネッド第2代学長に就任。
1920(大正9)年 4月	大学令による同志社大学の開校。文学部(神学科，英文学科，1927年に哲学科を増設)，法学部(政治学科，経済学科，1923年に法律学科を増設)，大学院および予科を設けた。

次ページへ続く

年月日	事柄
1922(大正11)年 4月	専門学校の再編成。専門学校令による大学を専門学校として再編成し、神学部、英語師範部、高等商業部(商学部の前身)、政治経済部の4部を置いた。
1929(昭和4)年 4月	岩倉に高等商業部を移す。
1930(昭和5)年 6月	女学校専門学部を女子専門学校と改称。
12月	専門学校高等商業部を高等商業学校と改称。
1940(昭和15)年 11月	「良心碑」を有終館前の中庭に建立。
1943(昭和18)年 4月	「同志社中学」を「同志社中学校」(中学校令による)とする。
1944(昭和19)年 4月	工業専門学校(電気通信科・機械科・化学工業科)開校。
10月	同志社大学研究所(現・人文科学研究所)設置。大学は法文学部(神・厚生・法経の3学科)1学部に縮小された。高等商業学校を経済専門学校と改称。
1946(昭和21)年 4月	学部の復旧。大学は元の2学部に復旧し(厚生学科は文学部社会学科になる)、翌年神学科は学部になった。
1947(昭和22)年 4月	新学制により新制同志社中学校、女子中学校が発足する。
1948(昭和23)年 4月	新制大学開校。神・文・法・経済学部が開設。同志社高等学校、女子高等学校、商業高等学校(定時制)開設。
1949(昭和24)年 4月	商学部と工学部を新設し、大学は6学部となる。女子大学(学芸学部)開校。
1950(昭和25)年 4月	新制大学 大学院修士課程設置。神・文・法・経済・商各研究科を開設した。短期大学部(夜間2年制)設置(英語・商・経・工各学科)。
1951(昭和26)年 3月	大学教養学部(一般教育課程)を廃し、学部別縦割りとする。
7月	同志社香里中学校、同高等学校を開設。
1952(昭和27)年	同志社各専門学校を廃止。
1953(昭和28)年 4月	大学院博士課程設置。
1954(昭和29)年	短期大学部発展的に解消、2部(4年制)を設置(文・法・経済・商・工各学部)
1955(昭和30)年 4月	工学研究科修士課程開設。
1957(昭和32)年 3月	同志社大学研究所を「同志社大学人文科学研究所」と改称。
1958(昭和33)年 3月	アメリカ研究所設置。
1959(昭和34)年 4月	理工学研究所設置。
1963(昭和38)年	同志社社史史料編集所設置。
1965(昭和40)年 11月	大学会館開館。
1973(昭和48)年 12月	大学新図書館竣工。
1974(昭和49)年 11月	新町別館(音楽演劇総合練習場)開館。
1975(昭和50)年 4月	創立100周年記念事業を行う。
9月	計算機センター発足。
1976(昭和51)年 10月	光塩館(法・経研究室)竣工。
1980(昭和55)年 4月	国際高等学校開校。
1982(昭和57)年 12月	徳照館(文学部研究室・事務室)竣工。
1985(昭和60)年 1月	田辺校地の起工式をおこなって建設に着手。
1986(昭和61)年 4月	田辺校地開校。全学部第1部1・2年次生の授業が開始。文学研究科社会福祉学専攻博士課程(後期課程)、国文学専攻博士課程(後期課程)開設。
5月	女子大学短期大学部開校。
1988(昭和63)年 4月	文学研究科美学および芸術学専攻修士課程開設。国際中学校開校。
9月	新島記念講堂(礼拝堂)竣工。
1990(平成2)年	新島襄永眠100周年行事を行う。

次ページへ続く

年月日	事柄
1991(平成3)年 4月	アメリカ研究科修士課程開設。学術情報センター発足。
1993(平成5)年 4月	新島襄生誕150年記念行事を行う。 言語文化教育研究センター設置。宗教センターをキリスト教文化センターに改称。文学研究科教育学専攻修士課程,同社会学専攻修士課程,およびアメリカ研究科アメリカ研究専攻博士課程(後期課程)開設。
1994(平成6)年 3月	田辺校地理化学館ほか11棟(工学部棟)および紫苑館,恵道館竣工。
4月	工学部知識工学科,機能分子工学科,物質化学工学科を新設。また機械工学科を機械システム工学科に,機械工学第二学科をエネルギー機械工学科に学科名変更。工学部および工学研究科,理工学研究所を田辺校地に統合移転。
1995(平成7)年 4月	総合政策科学研究科修士課程開設。
1996(平成8)年 4月	商学研究科「専門職コース」内に「ベンチャービジネス・プログラム」を開設。経済学研究科応用経済学専攻に「高度専門職コース」を開設。文学研究科美学および芸術学専攻に博士課程(後期課程)を開設。
1997(平成9)年 4月	文学研究科社会学専攻と総合政策科学研究科総合政策学専攻に博士課程(後期課程)を開設。昼夜開講制を実施。
1998(平成10)年 4月	文学研究科新聞学専攻に博士課程(後期課程)を開設。工学研究科に知識工学専攻修士課程,および数理環境科学専攻修士課程を開設。セメスター制度を実施。
1999(平成11)年 4月	留学生別科を設置。
2000(平成12)年 4月	工学研究科知識工学専攻に博士課程(後期課程)を開設。
2001(平成13)年 3月	京田辺キャンパスに知能情報センター(香知館)を開設。
4月	文学研究科教育学専攻に博士課程(後期課程)を開設。
2004(平成16)年 4月	大学院として法科大学院,経営大学院,学部として政策学部,工学部の学科として情報システムデザイン学科,環境システム学科を新設
2005(平成17)年 4月	文化情報学部を新設予定
終わり	



Fig. 10 知能情報センター

## 7 同志社系列校

同志社は、1875(明治8)年、新島襄によって創立された我が国有数のキリスト教主義の学園である。創立当時の生徒数はわずか8名だったが、いまは同志社大学、同志社女子大学のほか高等学校、中学校、幼稚園を含む大きい総合学園となり、学生生徒の数は3万5千名、専任教職員は1500名を超えている。また25万名をこえる卒業生は現在、経済・政治・宗教・教育・社会事業など多彩な方面にわたって社会のために活動している。

- 同志社女子大学(今出川、京田辺)・  
中学校・高等学校(今出川)

1876(明治9)年に同志社女子大学の前身である女子塾が京都御苑内のデヴィス邸にて開設された。この塾は京都におけるキリスト教主義女子教育の先駆けとなった。「他者を思いやる心と自立の精神を身につけ、国際社会で活躍できる女性」の育成を目指す。

- 同志社中学校(今出川)・高等学校(岩倉)

特色ある一貫教育を通して、幅広くさまざまな科目を学び確かな基礎学力を養うと共に、グループ学習・発表・討論などの参加型学習を通して個性を伸ばし、思考力・創造性を持った人間を育てる。

- 同志社香里中学校・高等学校(香里園)

1951(昭和26)年に誕生した同志社香里中学校・高等学校は、「大阪の地にも学校を」と願う新島襄の意志を実現した学舎で、以後、同志社学園の中等教育機関として重要な役割を担っていった。

- 同志社国際中学校・高等学校(京田辺)

同志社の精神・伝統を受け継ぎつつ、国際化社会の要求にこたえて関西初、当時は唯一の帰国子女受け入れの高等学校として、1980年に高等学校、1988年に中学校が開校した。

- 新島学園中学校・高等学校・女子短期大学(群馬県)

1947年、新島襄のキリスト教精神による人格教育の理想に基づき設立された。創立時より掲げる「教育の5原則」により、自由で敬虔な人格、国際的教養や民主的な社会人としての良識をもち、神と人々に奉仕する人材を育成している。

- 同志社幼稚園(今出川)

1897年6月(明治30年)、アメリカの宣教師 Miss M.F.Denton が今出川に幼児をあつめて幼稚園を開設した。創立後30年間はアメリカンボードというアメリカの宣教師派遣組織によって経営が維持さ

れ、1935年から10年あまり同志社同窓会が経営を引き継いだ。1947年に学校法人同志社幼稚園となり現在に至る。

## 8 工学部

京田辺キャンパスにある理化学館の施設正面には、「SEEK THROUGH YOUR VOCATION TO SERVE GOD AND HUMANITY」(天職による神と人類への献身)という文字が刻まれている。工学とは、「モノづくり」を目指す学問であるが、「科学技術は人間のためにある」と考える工学部のポリシーには、百年前、今日を夢見た新島襄の精神が受け継がれている。

### 8.1 科学に目を輝かせた新島襄の夢の結実

はやくから科学の可能性に注目し、欧米に負けない科学技術教育を目指した同志社の創立者・新島襄の情熱がハリス理化学館の名に残っている。1890(明治23)年7月、今出川キャンパスにハリス理化学館が設立され、同志社の科学技術教育が始まった。資金難のため一度その教育は中止されたが、1949(昭和24)年、新島襄の想いは新制大学の工学部として再スタートした。1994年(平成6年)、田辺キャンパスへの移転が実現し、学科の新設と再編がなされ、知識工学科、電気工学科、電子工学科、機械システム工学科、エネルギー機械工学科、機能分子工学科、物質科学工学科の7学科編成となった。1998(平成10)年には、大学院に新たに知識工学専攻(修士課程)、数理環境科学専攻(修士課程)を加え、2000年(平成12年)には知識工学専攻に博士課程を増設した。また、2001年(平成13年)には、科学技術の推進に資することを目的とする知能情報センターを開設した。同志社ハリス理化学校以来約110年の長い歴史を誇る同志社大学工学部は、約3万人におよぶ卒業生を世界に送りだした。新島襄より受け継がれた理工学の情熱を継承し、一層の飛躍をとげようとしている。

## 9 データで見る同志社

- 学部学生数：23,054人(男15,239人/女7,815人)
- 大学院生：2,083人(男1,486人/女597人)
- 教員数：1,367人
- 校地・校舎面積：2,428,648  
(うち京田辺 928,454 / 今出川 149,122 )
- 蔵書数(図書)：1,905,960冊  
(うち京田辺 165,000冊 / 今出川 540,000冊)
- パソコン台数：1,112台  
(うち京田辺 705台 / 今出川 407台)

なお、上のデータは京田辺、今出川、新町、岩倉の全学のデータを合計したものである。



## 9.1 同志社のOBを知る

### 9.1.1 政治家

土井 たか子【社民党党首】(大学院・法学科)  
末広 真季子【参院議員・タレント】(文学部)

### 9.1.2 企業

寺澤 正雄【日本 HP 社長】(工学部)  
林 裕章【吉本興業株式会社元社長】(商学部)  
木村 政雄【吉本興業株式会社前社長】(文学部・社会学科)  
小池 聡行【元オリコン社長】(文学部・社会学科)  
小嶋 淳史【がんこ社長】(経済学部)  
木村 昌平【セコム社長】(文学部)  
一澤 信三郎【一澤帆布社長】(経済学部)  
大津 健一【日本キリスト教協議会総幹事】(神学部)

### 9.1.3 芸能

清水 圭【タレント】(商学部)  
生瀬 勝久【俳優】(文学部)  
二谷 英明【俳優】(文学部)  
筒井 康隆【小説家】(文学部)  
千 宗室【茶道裏千家今日庵 15 代家元】(法学部)  
三上 真司【ゲームプロデューサー】(商学部)  
中村 浩美【シンポジウム・コーディネーター】(法学部)

### 9.1.4 スポーツ界

平尾 誠二【ラグビー】(商学部)  
大八木 淳史【ラグビー】(商学部)  
林 敏之【ラグビー】(経済学部)  
杉浦 正則【シドニー五輪野球日本代表】(商学部)  
奥野 史子【シンクロ】(商学部)  
土佐ノ海【力士, 本名: 山本 敏生】(商学部)  
朝原 宣治【アトランタ五輪陸上 100m 準決勝進出】(商学部)  
中西 哲生【元 J-リーガー, 現サッカー解説者】(経済学部)  
宮本 恒靖【サッカー, ガンバ大阪 DF】(経済学部)  
小島 伸幸【サッカー, アビスパ福岡 GK】(商学部)  
片岡 篤史【プロ野球, 阪神タイガース】(商学部)  
宮本 慎也【プロ野球, ヤクルトスワローズ】(商学部)  
田尾安志【野球評論家】(文学部)

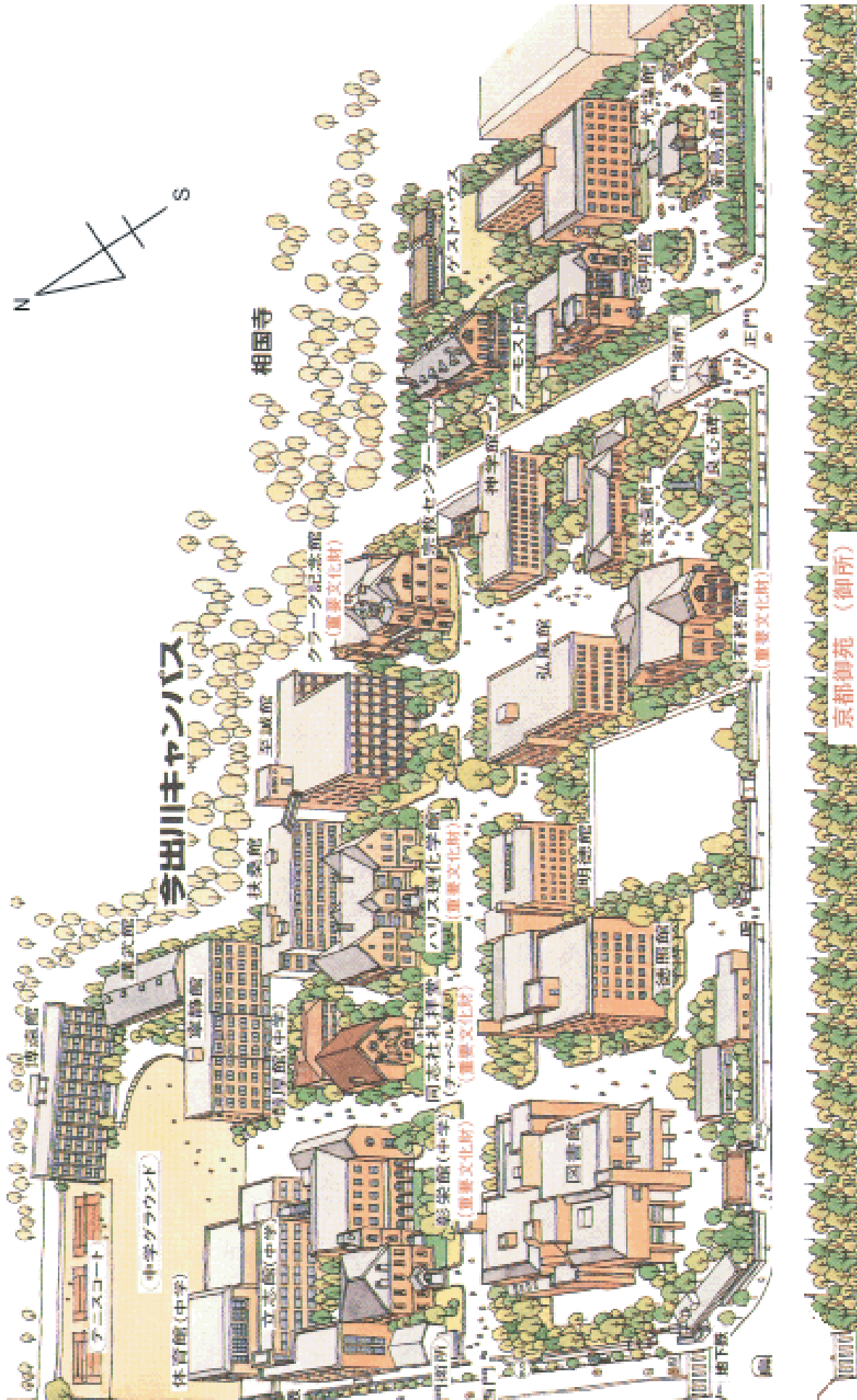


Fig. 11 今出川キャンパス



Fig. 12 京田辺キャンパス

## 10 同志社 College Song

Doshisha College Song (Fig. 13 参照) は、ドイツの C.M.Wilhelm 作曲の「ラインの守り」に、アメリカの青年建築家 William M.Vories が 1908 年に英語の歌詞をつけたことにより誕生した。作詞の構想について「同志社の性格はその名のとおりに One Purpose です。そこに詩想の根拠を置いて書きつづけました。」と語っている。

### Doshisha College Song

1.

One purpose, Doshisha, thy name  
Doth signify one lofty aim;  
To train thy sons in heart and hand  
To live for God and Native Land.  
Dear Alma Mater, sons of thine  
Shall be as branches to the vine;  
Tho' through the world we wander far and wide,  
Still in our hearts thy precepts shall abide!

### 和訳

1.

同志社よ、その名は一つの目的を意味する。  
その学徒の精神的、肉体的に神のため、祖国のため、  
生きんとする一つの崇高な目的を、  
親愛なる母校よ、同志社の学徒は、  
葡萄の枝のごとくつながりゆくことであろう。  
たとえ世界くまなく、広くはるかに、我らさ迷うとも  
汝の教訓は、我々の心に永遠に生き続けるであろう。

2.

We came to Doshisha to find  
The broader culture of the mind;  
We tarried here to learn anew  
The value of a purpose true;  
Dear Alma Mater,ours the part  
To face the future staunch of heart,  
Since thou hast taught us with high aim to stand  
For God,for Doshisha,and Native Land!

3.

When war clouds bring their dark alarms,  
Ten thousand patriots rush to arms,  
But we would through long years of peace  
Our Country 's name and fame increace.  
Dear Alma Mater,sons of thine  
Will hold their lives a trust divine  
Steadfast in purpose we will ever stand  
For God,for Doshisha,and Native Land!

4.

Still broader than our land of birth,  
We 've learned the oneness of our Earth;  
Still higher than self-love we find  
The love and service of mankind.  
Dear Alma Mater,sons of thine  
Would strive to live the life divine;  
That we may with increasing years have stood  
For God,for Doshisha,and Brotherhood!

## Doshisha College Song

Words by W.M.Vories Music by Carl Wilhelm

One pur-pose, Do-shi-sha, thy name Doth sig-ni-fy one  
loft-y aim; To train thy sons in heart and hand To live God Native  
Land. Dear Al-ma Ma-ter, sons of thine Shall  
be as branch-es to the vine. Tho' through the world we wan-der  
far and wide, Still in our  
hearts thy pre-cepts shall a-bide!

One purpose, Doshisha, thy name  
ワン パーパス ドーシーシャ ザイ ネーム  
Doth signify one lofty aim;  
ダース シーグニーファーイ ワン ローフティ エイム  
To train thy sons in heart and hand  
トゥー トゥレイン ザイ サンズ イン ハーテン ハーンド  
To live for God and Native Land.  
トゥリー ファ ガッデンネーイーティープ ラーンド  
Dear Alma Mater, sons of thine  
ディーア アルマ マター サンズ オブ ザイン  
Shall be as branches to the vine;  
シャル ビー アズ ブランチーズ トゥー ザ ヴァーイン  
Tho' through the world we wander far and wide,  
ゾー スルー ザー ワーディ ワンダー ファー エーン ワー  
イド  
Still in our hearts thy precepts shall abide!  
スティール イン ナー ハーツ ザイ プリーセップス シャー  
ルアーバーイド

Fig. 13 Doshisha College Song